

2006 年秋学期のまとめ

提出日: 2006年12月23日

氏名: 池上 真

一学期を振り返って

留学生活も2年目に入り、Gallaudet においては最後の年にあたる今年は、通常のクラスの予復習に加え、LSATの試験を含むロースクールの準備や Gallaudet の新学長選出に対する抗議運動など、一年目とはまた違う意味で刺激の多い一学期であった。

抗議運動について

10月の生活記録においても触れたが、この秋学期は Gallaudet の次期学長に対する抗議運動によって Gallaudet 全体が大きく揺れた学期である。今年の5月に今のキング・ジョーダンに代わる次期の学長として、ジェーン・フェルナンデスが選出されたが、学生や職員、教授の多くがこの結果に大きな不満を持ち、抗議運動を起こした。その後すぐに夏休みに入り、ほとんどの学生が実家に帰省し、正門前に張られたテントも撤去され、一時、抗議運動は収まったかと思われた。しかし、8月下旬に秋学期が開始し、再び新生を含む学生たちでキャンパスが賑わうようになると、近いうちに抗議運動が再開されるという噂を耳にするようになった。当初は、この問題は学生会の代表や理事会などの間でのみ話し合いが行われ、まもなく解決されるだろうと思っていたが、10月の始めに一部の校舎が占拠されるという事件が起きた。その校舎の中には僕のアドバイザーのオフィスもあったのだが、この事件により、ロースクールに関して相談するということがなかなか難しいという状況に追い込まれた。幸い、抗議運動は約1ヶ月で收拾がついたが、ひとたび抗議運動が起こると個人の力ではどうすることも出来ないということを身をもって感じた。

他方、この抗議運動と、当時受講していたデフスタディーのクラスのおかげで、「ろう」というものについて、いつもに増して考えるようになり、ろう者としてのアイデンティティは、「結果」として捉えるものではなく、「過程」として捉え、考察することが、ろう者の社会的地位の向上の観点からも、重要であり、合理的であるということ学んだ。そういう意味で、この抗議運動がもたらしたものは決して否定的な面だけではなく、これからのろう運動を担う次世代のろう者に希望と勇気を与えてくれたものと信じてい

る。

□ クラスについて

秋学期は、デフスタディー、アメリカ政治、社会福祉、教育、体育と5つのクラスを受講した。1年目の春学期で自分の思うようなクラスの組み合わせができなかったのも、同じ失敗を繰り返さないために、事前にいろいろな学生からクラスに関する情報を集めた。ギャローデットには、法律に関するクラスが数えるくらいしかなく、その上に、ロースクールや日本の法学部で学ぶようなメジャーな法律(たとえば、民法、刑法など)のクラスは設置されていないため、結果として、興味のあるクラスが少なく、限られてしまう。自分の興味のある内容はロースクールで学んだと自分に言い聞かせ、とりあえず、英語の向上に役立つクラスや、ギャローデットならではのクラスを選択した。今学期は、幅広くいろいろなクラスを受講したが、やはり、アメリカ政治が一番毎回のクラスを楽しみにしていて、アメリカの法律を勉強する前に、アメリカ政治全体の仕組みを学ぶことができよかったと思う。また、今学期は、初めて体育のクラスをとってみた。自分でジムに行ったり、友人を誘って何かスポーツしたりして体を動かそうというも思うのだが、なかなか実行に移すことが難しいと自覚した僕は、机の上の勉強の科目だけでなく、何か体を動かすことのできるクラスでもとろうと思い、このクラスを受講した。体育のクラスは、いろいろなものがあるが、僕は、バドミントン(前半)と卓球(後半)のクラスを選択した。「クラス」なので、半強制的に体を動かすことができ、かなり気分転換になったと思う。教室でのクラスと違い、体育のクラスは、いろいろな学生と知り合うきっかけを作りやすい。インテグレーションという環境の中で、スポーツクラブ、あるいは、体育系の部活の活動を通じて、友人を作るという経験と似ている。

□ ロースクールの準備

6月から始めたLSATの試験勉強を、学校が始まってからも授業の合間にコツコツと問題演習を続けた。9月の終わりに試験が行われ、アメリカの大学で読まされる英語よりも難しいレベルだったが、無事に終えることができほっとしている。また、ロースクールに出願するに当たっては、パーソナルステートメント(志望理由書)と欧文推薦状を提出する必要があるが、パーソナルステートメントは、ろうのロイヤーや、ギャローデット大学の英語クラスの教授などに見ていただき、欧文推薦状も、ギャローデットの教授や、OIPS(Office of International Programs and Services)のディレクター、そして、日本の母校の大学の教授にもお願いにあがり、無事に4通の推薦状を揃えることができた。

□ 来学期への抱負

来学期は、ギャローデットにおける学生生活最後の学期となる。引き続き、通常のクラスの勉学に励むことはもちろんだが、ロースクールへの入学が認められるように、最後まで気を緩めることなくがんばりたい。